

令和2年1月10日 校長 高倉 満

## □令和2年スタート！今年も『立志・挑戦・感動』

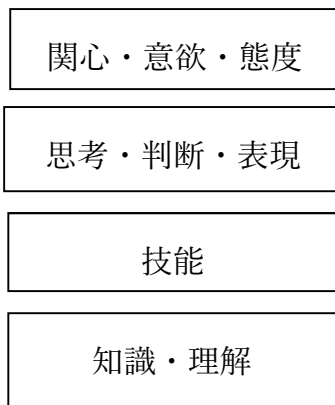
私たちが新たな目標を持ち、次年度につながる動きをつくっていきましょう。

先日、教育課程の基本方針作成のワークショップを行いました。新たな取組として竹並先生を中心に、研修部にも協力をしてもらい進めることができました。学期はじめの忙しい時に先生方にも協力をしてもらい、たくさんの意見をいただきました。本当にありがとうございました。子どもたちの実態（教育課題）が数多く出されたことは、とても意義があると感じています。

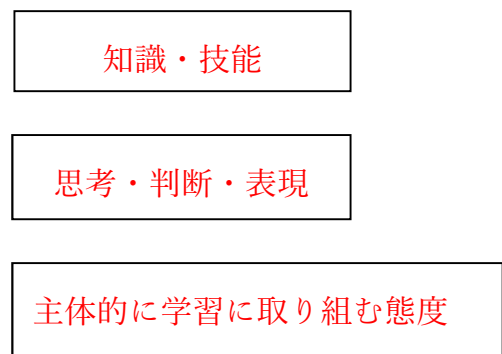


今回の学習指導要領の改訂では、知・徳・体にわたる『生きる力』をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を『何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）』、『理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）』『どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）』の三つの柱に再整理を図るようになります。その意味からも、今回のような研修を通して、みんなで意見を出し合いながら全体計画を作成する作業に取り組むことは、一人一人が学校経営にかかわり、そして経営参画意識の向上や授業改善の推進に繋がると思います。令和2年度は小学校、令和3年度から中学校も新学習指導要領が実施されます。その中で大きいのは『教育課程の実施と学習評価』です。そこで、学習評価の改善の基本的な方向性を次の3点から示しています。一つは『児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと』二つは『教師の指導改善につながるものにしていくこと』三つは『必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと』です。そこで、観点別学習状況の評価については、新学習指導要領では、指導と評価の一体化を推進する観点から、『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3観点に整理されます。

### 【現行】



### 【新】



## お世話になった先生の言葉！

□ソフトボール部の顧問の時、お世話になった先生がいます。熊本市帯山中を最後にご退職されました、松崎先生という方です。吉井中、立石中、浮羽中の頃に練習試合をはじめ、各大会等で声をかけていただき、熊本まで行き試合もさせていただきました。全国に行くチームをつくられる先生で一度も勝つことができませんでした。二年前、突然に連絡があり浮羽中に来られました。その時にいただいた言葉があります。その中から一部紹介します。朝の会等で使ってください。

○努力を友達にしてください。やがて、努力は親友になり そして、努力は真友になる。

だから、努力は裏切らない

○明日は休み『君は何をする？』『練習します』君は成功をする

○能力が足りないのではない、不足するとすれば、それは『やる気』

○成績【Y】は努力【X】の一次関数  $Y=aX+b$  (a:やる気 b:今までの努力)